

『みんなのねがい』を読むには…

●一人から始める

個人年間購読を申し込んでいただければ
郵送でお届けします。

●みんなで読めば

2冊以上まとめれば、「まとめ購読」。まとめ価格で送料無料でお届けします。

●書店、セブンイレブンでも

書店やセブンイレブンで申し込み、毎月（16日発売）お店で受けとることができます。お申し込みに必要な雑誌コード番号は「08441」です。

●見本誌無料で送ります

「どうしよかなあ」と迷っているあなた、「どんな本か手に
とって見てみたい」という人はまず見本誌を請求してください。

お申込・お問い合わせは

全障研出版部

電話 03-5285-2601
FAX 03-5285-2603

〒169-0051

新宿区西早稲田2-15-10 西早稲田関口ビル4F

ホームページ www.nginet.or.jp



出版部注文メール
はこちら！



購読申込用紙

お名前（ふりがな）	送り先ご住所 〒
お電話	
①みんなのねがい（ ）月号から 個人年間購読を申し込みます	
②みんなのねがい（ ）月号から まとめ購読（ ）冊を申し込みます	

見本誌をお送りする方

お名前	お電話
ご住所 〒	

ご紹介者のお名前

お電話

見本誌希望
はこちら！

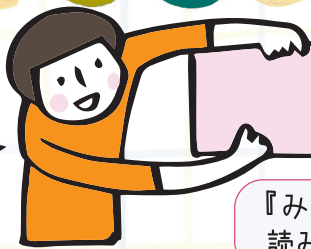
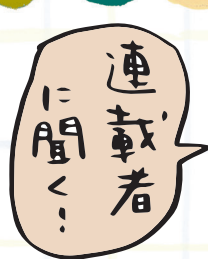


障害者の権利を守り、発達を保障するために

みんなの ねがい 2023

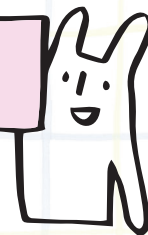


1970年に創刊された『みんなのねがい』には障害のある人やその家族、実践者など、さまざまな人のねがいや希望、ときには、心の葛藤がつまっています。あなたの生活にそっと寄り添う、やさしくあたたかみのある一冊でありたいと思っています。
塚田直也（『みんなのねがい』編集長）



2023年

『みんなのねがい』の読みどころ



『みんなのねがい』は障害児教育、福祉、家族のねがいがつまった障害者問題の月刊誌。
読みやすくやさしい、そして障害のある人や子どもたち、家族、関係者をつなぐ雑誌です。

「発達の中の煌めき」第Ⅱ部

発達を
学ぶ

「第Ⅰ部」では、発達の道すじにそって障害のある子ども・人びとの生きる姿をたどってきました。連載「第Ⅱ部 発達の共感が創り出す実践」では、子どもや家族と働く人びとの発達へのねがいが響きあい、発達保障の実践が創られてきた歴史を学びます。そして、保育、療育、教育、放課後や成人期の支援などのこれからを、みなさんとともに創造していきたいと思います。

白石正久さん（龍谷大学名誉教授）

白石恵理子さん（滋賀大学）

連載をさらに深める手がかりとして、解説版【もう一つの「発達の中の煌めき」】をWebで公開中！
QRコードから読むことができます。



保育・療育
子育て

「仲間がいっぱい ひろしまの療育」

私たち全障研広島県支部広島乳幼児サークルは、2011年の広島大会を機に2012年に発足し11年目となります。会員数は120名。主に広島市こども療育センターの職員で、乳幼児の療育に携わる現役、OB職員中心に構成されています。今年、療育センターができて50年。乳幼児期の療育で大切にしてきたこと、保護者と共に運動してきたこと、そして、今後の課題を見つめ、仲間と共に進む方向性を模索しながらの連載の1年間になればと思います。

広島乳幼児サークル



乳幼児期から青年・成人期まで教育に福祉、最新の情勢もこの一冊で！

2023年の『みんなのねがい』

表紙が変わります！



土佐和史さん（写真家）
人と人のつながり、あたたかさをテーマに、写真家・土佐和史さんが捉えた人びとが表紙に登場します。毎月のお会いに乞うご期待！

福祉現場の今を読み解く
「措置から契約？」「ワンオペ夜勤？」…毎号、身近なキーワードから福祉現場の課題にふれていきます。

4月号から、深谷弘和さん（天理大学）の解説に学びます。

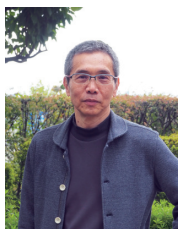
きょうだいエッセイ
子どものころ、今のこと、いろいろな世代のきょうだいのみなさんに語っていただきます。

手記 この子と歩む

『みんなのねがい』といえばこの連載！
障害のある子と歩む家族の物語です。

インタビュー

今、あなたと生きて
丸山 正樹 さん（小説家）



デフ・ヴォイス
丸山正樹 著
文藝春秋

障害や介護などをテーマにした社会派エンターテインメント小説が話題を呼ぶ丸山正樹さんに、作品に込めた思いや今の社会の中で考えていることをお聞きします。

（プロフィール）1961年、東京都生まれ。2011年、手話通訳士を主人公にろう者の世界を描いた『デフ・ヴォイス』で作家デビュー。近著に『ワンダフル・ライフ』『キッズ・アー・オールライト』など。

誠司くんの見たこと、聞いたこと、歩いてきた道

松本誠司さん（全障研高知支部）
障害者の権利を守り、誰もが暮らしやすい社会をめざす運動の先頭にたってきた松本さん。これまでの歩みから綴られる読みきりエッセイです。



ニュースナビ

障害児者をめぐる最新の情勢を学びます。
記事のちょっと見はコチラ
「ニュースナビ」→



発達保障インタビュー バトンゾーン

好評連載！ 発達保障のバトンをつなぐ歴史をその人生とともにお聞きします。



私のタカラモノ

新しくカラーページに！ 絵やビデオにお散歩、コレクション…なんでもありの大好きな宝物を紹介。『好き』に込められた思いにふれてホッコリします。

基礎から学ぶ 障害と医療

4月号からは「自閉スペクトラム症」について学びます。
日々の生活に即した知識と医療の今、必読です！

実践の魅力

乳幼児期から成人期まで、各地のみなさんが綴る実践記録。
自分の実践と重ね合わせながら一人で読んでも、みんなで読んでもおもしろい。
読者会で記事の読み合わせをしている方も♪

世界の風

春、4月号は黒海をのぞむブルガリアの地から。



支部だより

全国各地の支部活動をご紹介します。
身近な地域が紹介されていたら、ちょっと参加してみませんか？

2023年特集の予定

- 4月号 楽しい実践
- 5月号 重い障害のある人たちの関係づくり
- 6月号 雨の日

読者が語る! 『みんなのねがい』の読みどころ

乳幼児期の子どもたちとかかわる「あなた」へ

発達を学びはじめた頃、理論と目の前の子どもの姿がなかなか結びつかずモヤモヤ…。そんな頃に『みんなのねがい』と出会い、実践の中で子ども理解を深める“コツ”を学びました。また、たくさんのなかまや家族の思いを学び、今一緒に過ごしている子どもたちも、このように豊かに育ってほしいなと、職員としてのねがいを膨らませています。
発達相談員・山本翔太さん（和歌山）



学齢期の子どもたちとかかわる「あなた」へ

目の前のことでいっぱいになりがちな日々。考えが狭くなり、実践が行き詰まってしまうこともよくあります。そんなとき、ふと『みんなのねがい』を開くと、「自分の授業に取り入れよう」「こんな考え方もあるんだ」と視界が開けてきます。一人ひとりのねがいを重ね、みんなとつながり、『みんなのねがい』となっていることを実感できる一冊です。
特別支援学校教員・濱田健太さん（岩手）



作業所、福祉現場で働く「あなた」へ

就職をきっかけに購読するようになった『みんなのねがい』。電車移動中に、最後のページから読むのが自分流です。『みんなのねがい』には、成人期の人たちの今だけでなく“これまで”と“これから”を考える気づきがあります。いろいろな分野や立場からの記事が、一人ひとりの生活や人生と一緒に考える糧になっていると思います。
作業所職員・中山恵美子（京都）



みんなのねがいを読む お父さん、お母さんの声

「問題行動」という言葉から、どのようなことを思い浮かべますか？ 問題…なんだから、問題ですね。娘は28歳、知的障害を併せ持つ自閉スペクトラム症。そんな彼女の「問題行動」と格闘する日々が30年弱、まだまだ続く気配です。けれども『みんなのねがい』を読めば、そんな日々が実は今日や明日の娘の笑顔に繋がっていることがわかります。格闘する日々の中に煌めきを見つけられることができるはず
(*^▽^*)

内藤佳子さん（菜々の母）



子どもは療育センターの通園施設で療育を受けました。そこではパパの会を通じて障害のある子どもたちの将来を多くのお父さんたちと一緒に考えました。いろいろなことがわからないなかで不安なことが多かったように思い出されます。そんな子どもも現在20歳、10年前から愛読している『みんなのねがい』は、その頃の自分に贈りたい一冊です。障害のある子どもを育てるうえで広い視野を持つことが、子どもたちの将来の輝きにつながります。

九内康夫さん



編集部 note では
過去のマンガ連載
など公開中！→



みんなのねがいを読むには
裏面を Check!